

令和7年度

入園案内

幼稚園型認定こども園

学校法人丸和学園

佐倉城南幼稚園

〒285-0025

千葉県佐倉市鎗木町1丁目5番地

電話 043-484-0551

F A X 043-485-8798

<http://www.jyounan.org>

来年度に幼稚園へ入園を考えている保護者の皆様へ

小園に関心を持っていただき、どうもありがとうございます。

この封筒には令和7年度入園募集に関する書類を同封していますのでご確認ください。

お読みいただく中で、入園に際し何かありましたらどのようなことでも結構ですので、お問い合わせいただければ幸いです。

又入園説明会にお見えになる際は、この封筒一式をお持ちくださるとありがたいです。

記

- ◇ 令和7年度入園案内
- ◇ 令和7年度入園要項
- ◇ 認定こども園の1号・新2号・2号の違いについて
認定こども園でも、園により違いがあります。
- ◇ 用品代一覧
- ◇ 預かり保育（くまキッズ）料金プラン一覧表
- ◇ 給食について 委託している給食のハーブについて
- ◇ 安心と安全に対する園の取り組みについて（防災防犯時の対応等）

【下記の資料も同封しています】

- ◇ 入園願書(別紙)
- ◇ 幼稚園のしおり（別紙）
- ◇ 園長ブログ HPに掲載しているブログを一部抜粋しました。
園児たちの様子や教育方針を写真と記事でご紹介しています。（別紙）
- ◇ 「臨時駐車場」（別紙）

以上

※手にとっていただいたこの封筒のイラストは「幼稚園の四季」をテーマに、春夏秋冬の中で生活する園児たちのありのままの日常の姿を忠実に描いています。

「幼児がこの時期にしか経験できないことを通して、人間として何を学び育むのか」

本園はこのテーマを大事に大切に考えています。幼稚園は誕生から慈しみ育ってきた家庭を離れ、はじめて集団生活をする子ども達が集う場です。

自然豊かな環境の中で自律（自分で考えて行う）や自立（自分で行う）を育み、

たくさんの豊かな楽しい思い出（原体験）を作って欲しいと願っています。

またそうしたことができる教育環境をこれからも考えていきたいと思っております。

佐倉城南幼稚園

◎沿革

- ・ 昭和 40 年 4 月 29 日開園。
園児数 84 名 職員数 7 名でスタート。
1 年保育、2 年保育。初代園長として故・井出民蔵が就任。
- ・ 昭和 60 年 3 月佐倉城南幼稚園が学校法人の認可を得、同年 4 月学校法人丸和学園を設立、現在に至る。
- ・ 平成 14 年 4 月井出渉が園長に就任。
- ・ 平成 22 年 4 月保育室を 1 部屋増設し、年少（3 歳児）の認可定員を 1 クラスから 2 クラスに変更する。
- ・ 令和 2 年 4 月 1 日より「幼稚園型認定こども園佐倉城南幼稚園」として佐倉市特定子ども・子育て支援施設に移行し、利用定員を 135 名に変更。（1 号 105 名、2 号 30 名）
- ・ 子ども一人ひとりをより丁寧に見る保育ときめ細かい余裕ある保育を考慮して、利用定員を 105 名に変更。（1 号 75 名、2 号 30 名）
- ・ 卒園生 5, 407 名（令和 6 年度 3 月 31 日現在）

◎保育の目的 学校教育法によって幼児を保育し、適当なる環境のもとにその心身の発達を助長することを目的とします。

◎保育の方針 明るく、正しく、強くの綱領に基き、個性を尊重しながら、きまりある自由を体得させ、他人に迷惑をかけない人間となるよう保育することを基本方針としています。

◎保育内容 幼稚園教育要領の 5 領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）に基づいて行われます。

◎佐倉城南幼稚園の教育について

- ・「子どもとともに」を合い言葉に幼児を大人の付属物ではなく、ひとりの人格者として敬います。
- ・一人ひとりの育ちを大事に育みます。
- ・利用定員 105 名なので、全教職員と全園児がお互いを知り、複数の目で育ちを見守れます。
- ・自然豊かな園庭での遊びを通して五感を育み、知的好奇心を育てます。
- ・集団（友達）遊びを通して社会性を学ぶ時間を大切にします。
- ・家庭でできない体験を大事にします。

◎保育時間

1 号	教育標準時間	午前 9 時～午後 2 時
2 号	保育標準認定	午前 7 時 30 分～午後 6 時 30 分
2 号	保育短時間認定	午前 8 時 40 分～午後 4 時 40 分

教育標準時間(幼稚園教育・午前 9 時～午後 2 時)は 1 号、2 号とも共通です。

◎学級数（令和 6 年度）

年長 2 クラス、年中 2 クラス、年少 1 クラス、満 3 歳 1 クラス。合計 6 クラス。

◎教職員数（令和 6 年度）

園長 1 名、副園長（兼音楽専任講師）1 名、保育主任教諭(1 号・2 号)2 名、保育教諭 17 名、教育補助員(千葉県認定子ども支援員)1 名、非常勤講師(音楽・リトミック担当)1 名、スクールカウンセラー（公認心理士）1 名、事務員 2 名、園バス運転手 2 名、用務員（園菜園管理）1 名。満 3 歳児クラス・年少組はクラスに 2 名の保育教諭がつきます。

◎通園

徒歩通園またはバス通園（登園又は降園の片道利用可）になります。

バス通園の地域についてはご遠慮なくお聞きください。長時間のバス乗車は子どもさんにとってはなんら意味がありません。できるだけ乗車から降車まで短時間になるような運行を心がけています。原則園児がバス停から乗車してから園内到着まで 30 分以内の乗車でコースを設定しています。（1 コースのみ 45 分弱のバス停有）

◎課外教室（保育終了後の教室）

- ・ ヤマハ音楽教室 三陽楽器店主催 <http://34gakki.com>
個人、グループまたエレクトーン、ピアノなど子どもさんにあわせて色々なコースが選択できます。

◎令和7年度入園要項

- 募集要項 1年保育（令和7年4月1日現在、満5歳児） 1号若干名 2号若干名
2年保育（令和7年4月1日現在、満4歳児） 1号若干名 2号若干名
3年保育（令和7年4月1日現在、満3歳児） 1号15名以内 2号10名以内
*3年保育は、1クラスの人数が多くなる場合は、2クラスにします。
満3歳児 令和7年4月2日～令和8年2月28日で3歳になった翌月から入園可 1号15名以内
年少組で本園に入園する幼児が対象。3年保育（年少）1号への優先入園ができます。
満3歳児の入園要項は、次ページの満3歳児用入園要項をご覧ください。
2号は3歳から5歳 保育総定員 30名（入園選考は佐倉市が行います）

- 願書受付 1号：令和6年11月1日（金） 午前10時～午後5時
所要事項を記入した入園願書を提出してお申し込みください。当日定員に満たない場合は11月1日（金）以降定員に満たすまで先着順にお受けします。
但し土・日・祭日を除く毎日。午前8時頃～午後6時頃。

2号（4月入園一次募集）：令和6年11月18日（月）～12月9日（月）

佐倉市役所こども保育課で受付。

*佐倉市外にお住まいの方は同居地の市町村で受付（詳細は居住地の市町村に直接お問い合わせ下さい）

- 入園説明会 10月17日（木）午前10時から約1時間。その後自由に園見学ができます。
10月23日（水）午前10時から約1時間。その後自由に園見学ができます。

*両日とも内容は同じです。また説明会に出席されなくても入園申込には関係ありません。

*予約不要。人数制限なし。

*子どもさんが親から離れるようでしたら、職員でお預かりします。

*終了後、個別にご相談をお受けします。

*臨時駐車場がご使用になれます。別紙地図「臨時駐車場」をご参照下さい。

- 保護者面接 1号児対象。方法については、願書受付の際お知らせします。

- 預かり保育（くまキッズ）料金 1号用

*預かり保育料金の詳細については、8ページをご覧ください。

◇1号でも保育要件がある場合は市から認定（新2号認定）を受けた場合に限り、料金が無償となります。但し上限額(月額11,300円)があり、おやつ代は除きます。

利用日数に日額単価450円を乗じて計算した支給限度額(上限11,300円)と実際に支払った利用額を月毎に比較して、少ない方が補助額となります。

令和7年度満3歳児募集要項

〈募集人数〉

- ◆満3歳児：15名程度 令和7年4月2日以降に2歳から満3歳になった子どもさん
(令和4年4月2日～令和5年2月28日生) 満3歳になった月の翌月以降から入園できます。
事前予約制ですが、空きがあれば随時入れます。翌年度に本園の年少組に入園される園児対象。

〈願書配布〉

- ◆日時：10月15日(火)より
平日は午前8時頃から午後5時頃まで配布しています。土日、祝祭日は休園です。
但し、運動会(10月19日・土曜日)、入園説明会(10月17日木曜日・23日水曜日)の際は配布しません。
園バスにも積んでいますので、バス停でお声をおかけください。
また遠方の方、やむを得ない事情で来園できない方は郵送もいたします。

〈願書受付〉

- ◆日時：11月1日(金)より 午前10時～午後5時
- ◆申込方法：入園願書に所定の書類にもれなく記入の上、検定料4,000円を添えて提出してください。

〈説明会〉

- ◆日時
・10月17日(木) 午前10時～
・10月23日(水) 午前10時～

〈費用〉

- ◆申込時の費用：検定料 4,000円
保育料は無償化になり費用はかかりません。
- ◆入園前の費用：個人教材費 (年間) 2,000円前後
- ◆毎月の費用：保育料 無償
環境充実費 2,000円 *年少・年中・年長は月額3,000円
バス代(利用者のみ) 4,000円・片道利用2,000円
給食費(希望制) 主食付き440円、副食(3品)410円。

備考1：園バス、給食や預かり保育利用は子どもさんの状態や家庭状況を勘案しながら、子どもさんにとって無理のない状態でスタートさせたいと思います。

備考2：入園当初は慣らし保育があります。子どもさんの状態にもよりますが、1週間程度。

備考3：満3歳児入園児は、園帽子はありません。

通園カバンは指定の通園用リュックをお使いください。用品欄参照。

また登降園や日中は指定のカラー帽子(藤色)を着用しますので、ご注文ください。用品欄参照

備考4：満3歳入園児を検討されている保護者の皆様は、同封の「令和7年度入園案内」をご参照ください。

園の方針、教育目標、給食、用品費用等は詳細が記されています。

備考5：満3歳児は1号認定のみになり、新2号や2号は年少児(3歳児入園)から認定されます。そのため佐倉市で2号(新2号)に認定できる家庭の方は預かり保育(くまキッズ)の上限額を設定しています。2号認定用の就労証明書等が必要です。別紙の満3歳児用の預かり料金プランをご参照ください。又長期休み中も2号として給食の提供が可能です。

	1号	新2号	2号
スタイル	1号区分 幼稚園イメージ	1号区分 幼稚園イメージ	保育園イメージ
時間	原則9時～14時 幼稚園教育標準時間。従来通り 【休日】 土日祝祭日 お盆(8月11日～16日) 年末年始(12月29日～1月3日) 園が指定した日 (行事等振替休日・県民の日等)	原則9時～14時 幼稚園教育標準時間。従来通り 【休日】 土日祝祭日 お盆(8月11日～16日) 年末年始(12月29日～1月3日) 園が指定した日 (行事等振替休日・県民の日等)	・標準時間認定7時30分～18時30分 (最長 11時間) ・短時間認定 8時40分～16時40分 (最長 8時間) 幼稚園教育標準時間+保育時間 【休日】 土日祝祭日 お盆(8月11日～16日) 年末年始(12月29日～1月3日)
預かり保育	従来通り 7時30分～8時40分 保育終了後～17時30分 理由を問わず預かる 費用⇒実費 市への申請の必要はなし	従来通り 7時30分～8時40分 保育終了後～17時30分 但し保育要件に該当する時間については助成。 それ以外の個人的な事情による預かりも可能。その場合は実費になります。 費用⇒園に支払いをした後、申請書類を提出。園から市へ必要書類を提出後、還付される。(全て園で代理申請して行います)	就労時間内等保育要件の理由のみ 7時30分～8時40分 保育終了後～18時30分 原則申請している就労時間内等保育要件以外には預かれない。申請時間内であれば早めにお迎えも可能。 平日で保護者がお休みの場合幼稚園教育標準時間は利用できますが、預かり保育は利用できません。園バスは利用できます。 費用⇒保育料に含まれているので無償。申請の必要なし
預かり保育 (長期)	7時30分～17時30分 年末年始(12月29日～1月3日)、お盆(8月11日～16日)及び園が指定した日は休み。	7時30分～17時30分 年末年始(12月29日～1月3日)、お盆(8月11日～16日)及び園が指定した日は休み。	7時30分～18時30分 年末年始(12月29日～1月3日)、お盆(8月11日～16日)は休み。
給食	保護者希望制。食べた回数の実費分の支払いになります。 週5日給食提供可能又は弁当持参も可能。ご家庭で曜日ごとに選択して下さい。 給食は、副食のおかず3品(主食は家庭から持参)もしくは主食のご飯付きの弁当の選択ができます。 学期ごとに、給食や弁当持参の選択変更可能です。	保護者希望制。食べた回数の実費分の支払いになります。 週5日給食提供可能又は弁当持参も可能。ご家庭で曜日ごとに選択して下さい。 給食は、副食のおかず3品(主食は家庭から持参)もしくは主食のご飯付きの弁当の選択ができます。 学期ごとに、給食や弁当持参の選択変更可能です。	保護者希望制。食べた回数の実費分の支払いになります。 週5日給食提供可能又は弁当持参も可能。ご家庭で曜日ごとに選択して下さい。 給食は、副食のおかず3品(主食は家庭から持参)もしくは主食のご飯付きの弁当の選択ができます。 学期ごとに、給食や弁当持参の選択変更可能です。
園バス	往復又は片道利用できます。実費	往復又は片道利用できます。実費	往復又は片道利用できます。実費
振替休日	園が土曜日に行事等を実施した場合で振替で代休になった場合はお休み。	園が土曜日に行事等を実施した場合で振替で代休になった場合はお休み。	利用できます。7時30分～18時30分。但し園が休みの日は園バス休止。保護者送迎。

項目	金額	納入時期	備考
入園申し込み料 1号のみ	4,000円	入園願書受付時	入園申し込み料の返金は致しません。2号は佐倉市役所(居住地の市町村)に直接申し込むので、入園申し込み料はありません。
保育環境充実費 (月額) 1号、2号共通	3,000円	月ごとに納入	行事費用、畑や菜園の管理、リトミック指導やスクールカウンセラーなどの外部講師委託料。施設設備の整備や維持管理等園児達の保育環境充実に充当させます。 年間 36,000円 (3,000円×12ヶ月)
通園バス代(月額) 1号、2号共通	4,000円 片道利用 2,000円	月ごとに納入	希望者のみ。8月分を除く。但し利用時初回のみ園バス登録料(車検や保険代等に充当)として 4,000円を納入いただきます。登録料は年度内有効です。
給食費 1号、2号共通	食べた回数の実費分 1食=主食付 440円 副食 3品=410円 (主食は持参)		1号・2号(共通) 保護者希望制。食べた回数の実費分の支払いになります。 週5日給食提供可能又は弁当持参も可能。 ご家庭で曜日ごとに選択して下さい。 給食は、副食のおかず3品(主食は家庭から持参)もしくは主食のご飯付きの弁当の選択ができます。 学期ごとに、給食や弁当持参の選択変更可能です。
個人持ち教材費 (絵本代を含) 1号、2号共通	未定	一日入園時 (日時未定・3月を予定)	個人所有による保育で使う文具や教材及び月刊絵本です。 保育中に使用します。金額未定。 *参考(令和6年度)* 年少 12,231円 年中 12,836円 年長 13,166円
用品代 1号、2号共通	「用品代一覧」参照	一日入園説明会 (日時未定・3月を予定)	園指定のリュックや帽子の注文をお願いします。 用品と引き換えの際納入。 帽子やリュック一式を揃えて約11,000円ぐらいです。 夏用・冬用の園服、体操服はありません。
その他 1号、2号共通	遠足代交通費 (年中・年長) 宿泊保育代(年長)	実施日	5月の遠足は年少園バス、年中・年長組鉄道利用。 宿泊保育は7月に草ぶえの丘で実施。 *参考(令和6年度)* 宿泊保育代 5,000円

(例) 利用日数(15日)×日額単価(450円)=6,750円・・・A

預かり保育の利用料 8,000円・・・B

AとBと比較して少ない6,750円が補助額

1号：教育標準時間 午前9時～午後2時。

通常の預かり保育、夏・冬・春休みの預かり保育有。(時間は午前7時30分～午後5時30分)。

お盆(8月11日～8月16日)、年末年始(12月29日～1月3日)及び園が指定した日は行いません。

2号：保育時間 午前7時30分～6時30分。

お盆(8月11日～8月16日)、年末年始(12月29日～1月3日)は行いません。

保育時間のイメージ

標準時間認定 午前7時30分～午後6時30分 利用可能な時間帯(最長11時間)

短時間認定 午前8時40分～午後4時40分 利用可能な時間帯(最長8時間)

◎在園中、社会情勢、諸物価の値上がり等で場合により諸経費が変わる場合があります。

「用品代一覧」

◎令和7年度用品代について(消費税込み)

- ✿ 帽子 夏用 3,000円(3L以上は別途)
冬用 3,000円(3L以上は別途)

*夏帽子は、地球環境に配慮し、従来の漂泊過程をやめ、麦の天然素材を原材料としているために、本来の色合いが出ているために若干濃かったり等色むらがありますが、天然素材を原材料としているため、ご了解ください。

- ✿ 園鞆(リュック) 4,700円

✿ 紅白帽子・カラー帽子

3年保育	UVカラー帽子	650円
	UVカラー帽子日取付	950円

2年保育	UV紅白帽子	650円
	UV紅白帽子日取付	950円

*紅白帽は市販されているものでも結構です。

*3年保育は、カラー帽子になります。

*カラー帽子は年少の時にのみ使用し、年中及び年長は紅白帽子を使います。

- ✿ 園帽子の替えリボン 500円 園章(マーク) 420円

*新しく帽子を購入される方は必要ありません。*男の子は紺色、女の子はえんじ色のリボンになります。

○帽子は日取付と日取なしの2種類選択できます。ご家庭の方針でご自由にお選びください。

最近日取付が地球環境を考慮して、流行っていますが、本園の園庭は自然環境に恵まれ、樹木も多く夏場は木陰を利用して遊んでいます。また首筋に日取があるために風通しが悪く、かえって熱がこもるため、帽子業界や保育業界でも賛否は色々あります。

また半袖、半ズボン着用の方が紫外線のことを考えると、かえって首筋よりも半袖、半ズボンの対策が大事ではないかという意見もあり、様々です。どのタイプの帽子を選ばれても保育する上で支障はありません。

日取は取り外しが可能です。ただし後から日取だけを購入することはできませんので、あらかじめご承知おきください。

* UVカラー帽子・UV紅白帽子

素材が従来製品の綿90%、ポリエステル10%から綿10%、ポリエステル90%になり、色落ちしにくく乾きやすいのが特徴です。また紫外線を反射しやすく吸収しにくく、従来の製品にくらべ紫外線を95%カットするといわれています。

○園服及び体操服はありません。

○体操服は現在のところ使用していません。子どもさんが運動(遊ぶ)上で、私服でもなんら問題ははありません。年少から年長にかけて、子どもさんの身体の発達は目覚ましいものがあり、再度購入する場合もあり、園としては保護者の方にはできるだけ余分な出費はご負担させないように考えています。

令和7年度預かり保育（くまキッズ）料金プラン一覧 ※1号・新2号対象、2号は無償

<通常保育日>

	朝やけくまキッズ		夕やけくまキッズ									
	7時30分～8時40分	8時00分～8時40分	くまキッズ開始時間	12時まで(昼食なし)	13時まで	14時まで	15時まで	15時30分まで	16時まで	16時30分まで	17時まで	17時30分まで
午前保育(昼食なし)	200円	100円	11時20分～	100円	300円	400円	500円	600円	700円	800円	900円	1000円
全日保育(昼食あり)	200円	100円	13時50分～			200円	200円	300円	400円	500円	600円	700円

<休園日> ※5月の遠足及び11月の芋ほり遠足時

	7時30分～11時30分まで(昼食なし)	13時まで	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	17時30分まで
1日預かり保育	600円	1,000円	1,200円	1,300円	1,400円	1,500円	1,600円

<長期休暇中> ※夏休み・冬休み・春休み時

【1日預かり保育】 登園時間：7時30分～9時30分

	7時30分～11時30分まで(昼食なし)	13時まで	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	17時30分まで
1日預かり保育	600円	1,000円	1,200円	1,300円	1,400円	1,500円	1,600円

【午後から部】 登園時間：13時～13時30分

13時から14時	15時まで	16時まで	17時まで	17時30分まで
～おやつ有～				
200円	300円	400円	500円	600円

*満3歳児は1号認定のみで新2号や2号は年少児（3歳児入園）から認定されます。そのため本園では、2号（新2号）に認定できる家庭については預かり保育（くまキッズ）の上限額を設定しています。 月額料金：8,000円

*満3歳児の預かり保育で新2号を申請できる方は、市民税非課税世帯で保育要件に該当の方のみが申請の対象となります。

給食についてのこだわり～本園がハーブに委託する理由～

本園は幼児教育に関わるすべてにおいて、こだわりを持って教育を行っています。給食も同じことです。特に幼児にとって食べるということはきわめて大事なことであり、「食育」という言葉で代表されるのは、皆様もよくご存知のことと思います。こだわりについて、皆様に知っていただければと思います。

心身の成長の発達が著しい大事な時期だからこそ、安全、安心な食材と調理を大事にしたいと考えています。

食材へのこだわり～確かな食材～

- ・食材は一部入手できない場合を除いて、生活クラブ生協の食材を使用しています。
- ・食材の野菜、肉は全て国内産です。飼料に抗生物質や合成抗菌などは不使用です。魚類は原産地（漁獲した場所）として外国産があります。
- ・野菜は有機・無（低）農薬栽培です。
- ・冷凍食品は魚類以外使用していません。魚類は原産地からの輸入の関係上冷凍になりますが、場所、処理方法についての情報は把握しています。
- ・加工食品はハム、ソーセージ、練り物のみでまた化学調味料や保存料などの添加物は使用していません。後は当日厨房で食材から食事を作ります。
- ・食材は全て生産地、生産者、農薬の使用、出荷方法等を含めた全ての情報を把握しており、素性のわからない食材は使用していません。
- ・遺伝子組み換えのものは一切使用していません。
- ・献立は主食付き弁当又は副食3品になり、バランスを考えながら調理します。

食材の素性について

豚肉は山形県酒田市郊外の平田牧場育ちの三元交配豚。

三元豚とは……

ランドレース：発育が早く、子沢山

デュロック：強健で、赤身にきれいな脂がはいる

バークシャー：いわゆる黒豚

この3種を平田牧場独自の方法で掛け合わせています。

鶏肉は群馬県全農チキンフーズが生産しています。

豚肉も鶏肉も卵も勿論NON-GMOで、PHFの豚肉で育てられています。

- * NON-GMO 食品とは、遺伝子組換え原料を含まない、またはその割合が極めて低いと認められた食品の総称 PHF 食品とはポストハーベストを使用していない飼料（トウモロコシ等）

ていねいな調理

配食も大切な保育の一部と考え、幼稚園側と協力して手間のかかる盛り付けを省略し、その分しっかりと調理に手間ひまをかけて、ていねいに手作りしています。旬の素材をふんだんに使い、持ち味を生かし、形や歯ごたえを残してうす味で仕上げています。

アレルギーへの対応

どの子どもにも同じ給食の機会が得られるよう、食物アレルギーをもつ子どもさんに対しても、できるだけ対応しています。ご相談をお待ちしています。

弁当の利点

持ち運べるので、保育室以外の園庭など屋外で容易に食べることができる。園外保育に行っても食事のために園に戻る必要がない。

食事の際に取り分ける必要がないので、直ぐに食べることができるので、待たせる時間の必要がない。冬場は家庭から主食を持参して暖飯器で温めることができる。副食3品のみの注文も可能。

本園の安心と安全の取組みについて

園児の生命の安全は何よりも一番はじめに優先されるものです。子どもさんの入園に際し、皆様が安心していただけるように常日頃の園の取組みの一端について、述べさせていただきます。

本園は「安心と思った時点で安全ではなくなる」と考えています。教職員にもこの言葉を常日頃から啓蒙し、日々の中でつい忘れがちになることへの戒めの言葉とするように指導しています。

今後とも地域に開かれた幼稚園としての役割を念頭に、ヒューマンエラー防ぎながら最新の危機管理情報と社会情勢に留意しながら、防災や防犯面での安全にこだわり努めていくつもりです。

園舎、園庭について

- ・平屋の軽量鉄骨構造のため揺れを吸収し、倒壊しません。
- ・園児たちの保育環境を重視し、全ての保育室の床面は無垢材を使用し、建具もできる限り環境（人）にやさしい無垢材を使用しています。
- ・園舎は北側に山を背負い南側に園庭が開けているため、北風をさえぎり暖かな立地条件。
- ・学期ごとに遊具安全マニュアルにより、安全点検実施。

火災や地震等防災時の対応について

- ・年2回、委託契約している防災会社による定期検査（防火設備、消火器、非常警報点検）
- ・室内は全て防災カーテンを使用。
- ・防災防火への取組みを評価され、平成18年に佐倉市防火安全協会から表彰。
- ・防災計画に基づき、消防署員立ち合いによる火災を想定した避難訓練の実施。（学期ごとに実施・年3回）
- ・平屋で各クラス前に昇降口があるので、万が一の避難の際は素早く逃げられます。
- ・玄関ホールにAED（自動体外式除細動器）の設置。
- ・教職員の救急・救命講習実施。
- ・各クラスの保育室や倉庫に非常持出袋設置。非常持出袋には園児の連絡先を同封。
- ・万が一の震災に備えて園児が数日間園舎内で待機できる飲料水・食料・毛布・簡易トイレ等を備蓄。
- ・自家用の井戸水もあり、飲料水としての確保。井戸水も滅菌器を通して給水。
- ・園児が出入りする保育室のドアは防犯ガラス及び一部アクリルガラスを使用し、破損防止処置済み。

震災時の緊急連絡

- ・メール一斉配信システムを完備。
- ・メールが使用できない場合に備え、園HPに掲示板を置き、インターネットからの情報提供完備。
- ・園バスに位置情報システムを完備。アプリにより園バス情報可能。渋滞中また震災等緊急の際にも対応。

防犯の対応について

- ・警察（通信指令室）と直結する110番非常通報システムを完備。園と佐倉警察署とは車で約3分の非常に近い距離に位置しています。
- ・各保育室に警備会社（セコム）と直通の非常用警報装置を設置。
- ・防犯カメラを設置。警備を警備会社（セコム）に委託し正面玄関、園児が登降園で使用する通用門、正面玄関、園庭、裏口からの通用門の4か所に防犯カメラを設置。
- ・2重の門扉で外部からの侵入に備えます。
- ・「さすまた」をはじめ緊急用の防犯グッズを常備。

園バス安全対策

現在2台の園バスを運行し、毎年策定している学校安全計画マニュアルによる安全運行及び車内園児おきざり防止対策実施。

- ・園バス運転日報記入し、園児乗車人数記入。
- ・乗降名簿による園児出欠確認。
- ・各コース終了ごとに車内点検実施。
- ・登園及び降園終了後、車内安全確認。とりのこし防止装置完備。
- ・園バスは2台とも園内駐車。
- ・外から目視できるように、車内窓ガラスに掲示物を貼ることは禁止。

本園は現時点(令和6年10月1日現在)では6クラス110人ですので、園の教育方針とも相まって全職員と全園児がお互いに園生活を通して親しむことができ、ひとつの家族のような温かな雰囲気のもと、交流を深めています。そのため万が一の時も園児にとっては心情面でも心強いと思いますし、何かあった際にも園の規模からも避難時の際は比較的スムーズにでき、教職員も園児ひとりひとりに目を配らせることが可能だと思えます。